

平成29年度

平成29年10月27日

前期 学校評価アンケート結果について

京都市立乾隆小学校
校長 勝木 清隆

先日実施いたしましたアンケート集計結果をお知らせいたします。

回収率は、86%でした。ありがとうございます。

全体的に見ると、概ね良い評価結果でした。(右帯グラフ参照)問1、問2については、高い評価をいただきました。アンケート結果を踏まえ、子どもたちにしっかりと学力をつけていく取組を今後も進めていきたいと考えています。

問4については、高い評価をいただいている。家庭での学習習慣がしっかりと身につくように各家庭と、学校がさらに連携を深めるとともに、一人一人の課題にあった学習を提供したり、学習計画を立てたりすることで基礎基本の定着が図れるように取組を進めていきたいと考えます。

問5については、高い評価をいただいているが、教職員一人一人が「わかる授業」を中心とした学習の定着を確実なものにしていきたいと考えているところです。

学校といたしましてはこれらの結果を踏まえ、今後も授業改善や保護者の方の思い・願いをしっかりと受け止めていかなければならないと考えています。

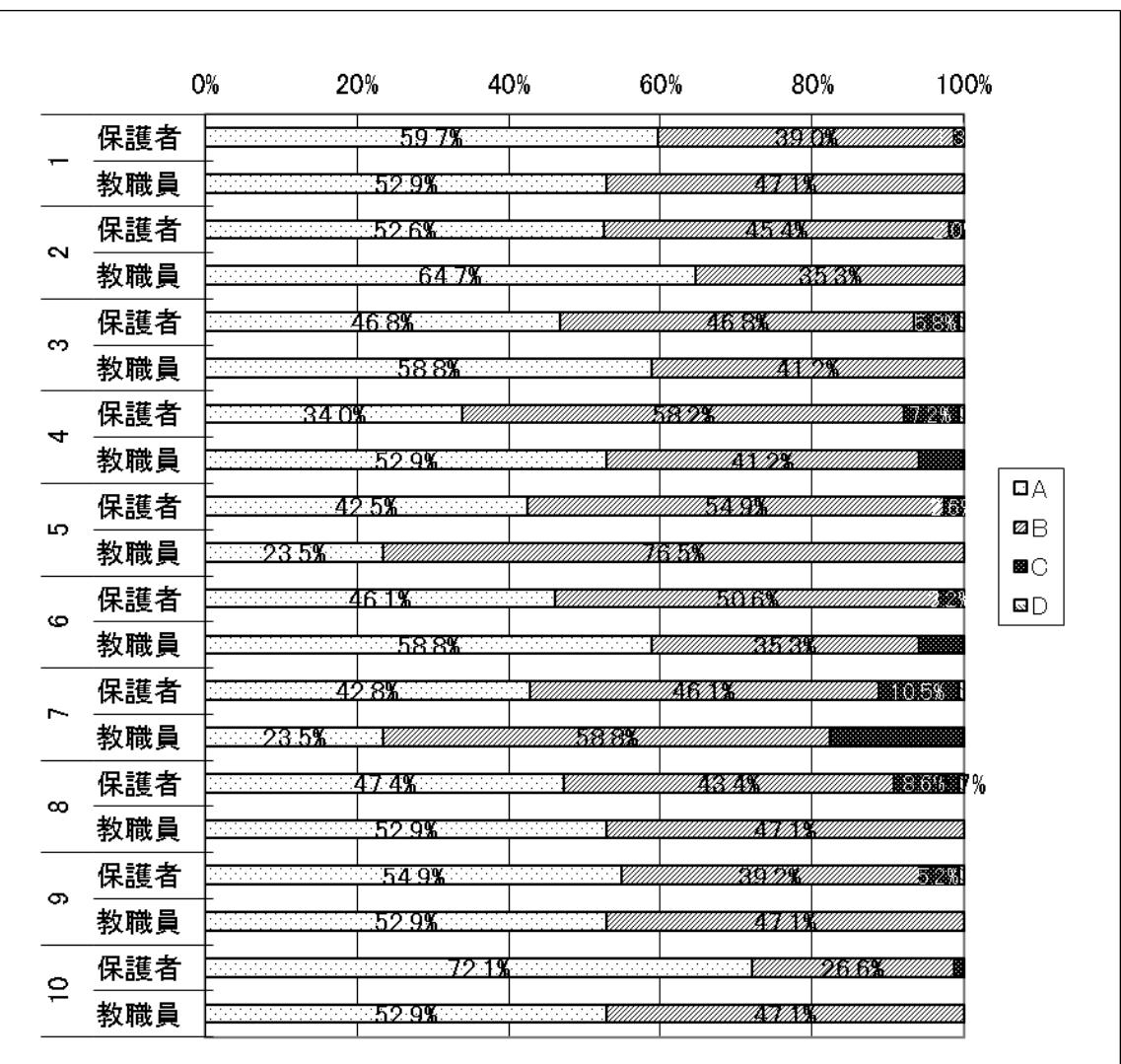
この評価結果については、学校運営協議会の理事会でも報告させていただきました。理事の皆さんからは、いろいろなご意見を頂きました。

- ・学習がわからないと答える子どもがいることは、決して悪いことではない、わからないことをきちんとわからないといえることも大切である。逆にわからないのにわかつていてると答えることが問題である。
- ・手を挙げて発表する子が少ないのは、高学年になるとある程度仕方のことである。論理的な解答を求められるので、低学年のように進んで発表することができなくなる。
- ・乾隆小学校の先生方は、いろいろな引き出しを持っているので、互いにそれを出し合い、先生方のスキルアップを図ってほしい。

また、保護者の皆様からは、記述式でのご意見・ご要望等も頂きました。頂いたご意見等を検討し、これからの方針に反映していきたいと考えております。

アンケート項目

- 問1 教育方針や取組内容を学校だよりや懇談会等の機会にわかりやすく伝えている。
問2 教育目標の達成に向けて、情熱を持って教育にあたっている。
問3 子ども一人ひとりが大切にされて、認められる学校づくりを進めている。
問4 宿題や家庭読書など家庭での学習習慣が身についている。
問5 教科の学習内容がわかり、基礎的な学力が身に付く取組を進めている。
問6 集団での規律やマナーなどが身に付くような取組を進めている。
問7 早寝・早起き・朝ごはんの習慣が身についている。
問8 子どもが成就感や満足感を感じながら学校生活を送れるような取組が進められている。
問9 子どもに力をつけていってほしいという保護者の思いや願いに応えようする姿勢が見られる。
問10 様々な取組や行事等を通して、家庭・地域と協力して子どもの教育にあたっている。



A：よくあてはまる B：ややあてはまる C：あまりあてはまらない D：あてはまらない